

# 工作機械工業 収益状況集計

(2018年度 第2四半期)

会員企業のうち2018年11月15日迄に2018年度第2四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業16社を集計。集計調査対象企業における専業比率は86.9%。なお、今期は専業比率の低下により調査対象外となった企業を除き、前年度から2社減となっている。

## 1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要(16社)

(単位：百万円・%)

	18年度	18年度	18年度	前年同期比	17年度
	I期	II期	I～II期		I～II期
売上高	206,690	221,679	428,369	+18.7	360,798
売上総利益	63,919	68,429	132,348	+26.1	104,989
売上総利益率	30.9	30.9	30.9		29.1
営業利益	21,153	23,667	44,820	+75.9	25,477
営業利益率	10.2	10.7	10.5		7.1
経常利益	22,261	24,060	46,321	+73.4	26,717
経常利益率	10.8	10.9	10.8		7.4
当期利益	14,711	16,625	31,336	+72.5	18,166
当期利益率	7.1	7.5	7.3		5.0
総資産	1,065,663	1,090,192	1,090,192	+6.4	1,024,831
純資産	601,080	619,473	619,473	+9.9	563,830
自己資本比率	56.4	56.8	56.8		55.0
自己資本 当期純利益率 (ROE)	9.8	10.7	10.1		6.4

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I～II期計・前年同期比) (16社)

(単位:社)

	増加	減少	合計
売上高	14	2	16
売上総利益	16	0	16
営業利益	14 (0)	2 (0)	16 (0)
経常利益	14 (0)	2 (0)	16 (0)
当期利益	14 (0)	2 (0)	16 (0)

※( )内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

## 2. 2018年度通期見通しの概要

**表3 【第2四半期時点】連結業績予想の概要（16社）**

（単位：百万円・％）

	2018年度通期見通し			2017年度実績
	第1四半期時点	第2四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	855,141	861,041	+7.8	798,849
営業利益	84,818	87,778	+19.6	73,369
営業利益率	9.9	10.2		9.2
経常利益	85,139	88,229	+18.9	74,195
経常利益率	10.0	10.2		9.3
当期利益	59,462	61,432	+17.8	52,169
当期利益率	7.0	7.1		6.5

**表4 【第2四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（14社）**

通期 (対前年度比)	増収増益	13社 (増減なし)	増収減益	1社 (増減なし)
		減収増益	0社 (増減なし)	減収減益

※前年度又は今年度に決算月を変更した2社は増減記載なし

※（ ）内は、第1四半期時点からの増減社数

### ◎第1四半期時点からの修正理由

#### 【売上高、経常利益とも上方修正 …4社】

- 放電機械の中国向け輸出が市場の高精度機要求に支えられ堅調に推移し、売上高が当初予想を上回る見通し。また、売上高の増加に伴い、各利益も増加。
- 第2四半期において工作機械事業の売上が見通しを上回ったことなどから、売上高は前回予想を上回る見込み。また、利益については、売上の増加などに伴い営業利益及び経常利益は前回予想を上回る見込みであるが、一部事業の再編に関連する費用を見込むことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を据え置き。見通しの前提となる第3四半期以降の為替レートは、米ドルは105円、ユーロは125円。
- 当事業年度において、国内の産業機械関連企業や自動車関連企業を中心に受注が好調に推移している。こうした状況を背景に、収益見通しが当初の予想を上回る見込みとなったことから、上方修正。
- 上期業績は好調な市況に支えられていたが、現在足元は中国市場をはじめやや調整中であり、下期業績は期初見通しを据え置きとし、売上高、各種利益を上方修正。

#### 【売上高は横ばい、経常利益は下方修正 …1社】

- 売上高では大型案件が減少した一方、溶接機材等が増加し、通年では横ばいながら、利益率では低下し、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見通し。

#### 【売上高は下方修正、経常利益は上方修正 …1社】

- 売上高は、工作機械関連事業部門における売上のずれ込み等により前回発表値を下回るものの、損益については、想定以上に原価低減等の効果が見込まれるため計画を上回る見通し。

### 3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (16社)

(単位:百万円・%)

	18年度		17年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	372,323	+20.2	309,864
営業利益	43,499	+72.0	25,283
営業利益率	11.7		8.2
専業比率	86.9		85.9

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (25社)

(単位:百万円・%)

	18年度		17年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	538,269	+16.3	462,824
営業利益	55,565	+69.7	32,744
営業利益率	10.3		7.1
専業比率	28.3		27.0

※表5の対象企業16社に加え、セグメント情報を公表している  
専業比率30%以下の会員企業9社を加えた25社で集計

#### 【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社  
 浜井産業株式会社  
 豊和工業株式会社  
 小池酸素工業株式会社  
 株式会社牧野フライス製作所  
 株式会社岡本工作機械製作所  
 OKK株式会社  
 オークマ株式会社  
 西部電機株式会社  
 株式会社ソディック  
 スター精密株式会社  
 株式会社太陽工機  
 高松機械工業株式会社  
 株式会社滝澤鉄工所  
 株式会社ツガミ  
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

株式会社F U J I  
 株式会社不二越  
 株式会社ジェイテクト  
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)  
 黒田精工株式会社  
 株式会社三井ハイテック  
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)  
 株式会社桜井製作所  
 東芝機械株式会社